


| | | | |
|---|----------------|--|-------|
| クラス | 専門演習 105 | 担当教員 | 吉村 輝彦 |
|  | テーマ | 福祉社会開発・場と縁・対話や共創支援力 ー日本や途上国における実践に向けてー | |
| | 著書・論文 研究課題等 | <p>[著書・論文]「住民主体の都市計画」(共著、学芸出版社)「まちづくりの百科事典」(共著、丸善)「環境計画・政策研究の展開」(共著、岩波書店)「都市計画の理論」(共著、学芸出版社)「Innovative Communities」(共著、United Nations University Press)等。</p> <p>[研究課題]「場」と「縁」のデザインとマネジメント学。まちづくりの支援的政策環境及び協働型まちづくりを支える住民参加システムについての実践的研究を行う。</p> | |

ゼミナール概要

キーワード：まちづくり、場と縁のデザインとマネジメント、ファシリテーション、参加と協働

<内容>

総合演習でそれぞれの先生のもとで学んだ力を、さらに伸ばしていく。特に、今後の重要になる「福祉社会開発」の考え方を深めながら、それぞれの関心に引きつけ、実践していくための学びとしていきたい。

<問題意識>

日本や開発途上国において、人々が幸せに生きていく、住んでいく、営みを行う「福祉」や「開発」のカチはどのようなものであろうか。また、それを実現するためにはどのようなアプローチが求められるのであろうか？ こうした問題意識のもとで、日本や開発途上国で、「福祉社会開発」を進めていくためには、自分たちで意思決定を行い、自分たちで実行できる仕組みを作っていくことが重要である。ここには、参加や学びを促す仕組み、計画づくりや事業づくりの支援の仕組み、環境や福祉を射程にいれたまちづくりのあり方、社会的起業を含めて地域を射程に入れた経済活動や生計活動を進めていくための仕組みが含まれる。一つの方向性としては、様々な人が出会い、話し合い、交流し合う場（空間）を創り出し（デザイン）、やわらかく、しなやかに運用していくこと（マネジメント）にあるだろう。

このゼミでは、各自の問題関心と関連づけながら、実践のあり方を構想していきたい。

<ゼミのねらい及び授業計画>

各自の問題関心から専門演習における取り組み課題を設定していくが、文献の読み込みやフィールド調査、グループ討議や発表（特に、重視）、また、実践的な活動に取り組んでいく。総合演習と同様に、様々な技法（グループ討議、ワークショップデザイン、ファシリテーション技法）の習得を目指し、また、論理的思考能力・質問力や対話力・コミュニケーション能力・発信力を高めていく。こうした力は、社会のどんな現場やフィールドにおいても役立つであろう（特に、青年海外協力隊などには不可欠な力）。並行して、各自の基礎的知識や学力アップも目指していく。また、勉強会や交流会、フィールド調査、ゼミ合宿の開催、教員の現場への同行など様々な機会を創出していくとともに、学生それぞれの関心やニーズにできる限り応えていきたい。それゆえ、ゼミでは学生の意欲的かつ主体的な参加や共同して取り組む姿勢が求められる。

<大事に思っていること>

- ・何かを一緒にやっていきたいという感性に関わる共感。自分自身が学び、変わるプロセスを楽しむ
- ・みんなでわいわいがやがや（コンヴィヴィアリティ）で元気づくり。地の知を紡ぐ、創発を楽しむ。
- ・アサーティブな姿勢でコミュニケーション。誠実・率直・対等を心がけながら、自分の想いを相手に伝える。
- ・エンパシー（共感創出力）、コミュニケーション（対話創発力）、ファシリテーション（共創支援力・協働促進力）：その技法（スキル）とココロ（マインド）。
- ・縁やネットワークキングを通じた様々な出会いや創発：つなげる・つながる。
- ・バルネラビリティ（弱さ・脆さ）の価値。自分を弱い立場に置くことで、他人の力を引き出す。
- ・開くこと（開放型）で、新たな展開を生み出す。情報は発信するところに集まってくる。リソースシェアリング・オープンソースで知を紡ぐ。
- ・トラブルをエネルギーに変えていくこと←合意形成のプロセス

※教員が関わる現在進行中のプロジェクトに関心があれば、積極的に関わって欲しい。犯罪からの子どもの安全・計画的な防犯まちづくりの展開（フィールド：岡崎）、地域資源を活かしたまちづくり（フィールド：名古屋市・東海市他）、地域づくりと地域福祉・福祉社会開発（フィールド：高浜、高知他）。

使用テキスト

特に使用しない。適宜資料を配布する。

担当教員からのメッセージ

開発の基本的な理解とともに、学生諸君の現場でのフィールドワークをもとに、グループ討論、発表ならびに議論を行っていくので、みなさんの主体的な参加を期待しています。